



活動事例

事例発表団体



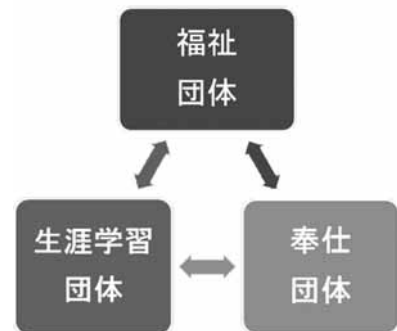
花光会（鹿児島市）

発表者：井上透氏

花光会の井上と申します。よろしくお願いいたします。なお、時間の関係で非常に早口になるかと思いますが、お許しいただきたいと思ひます。

先ほどの県民生活局長さんのごあいさつにもありましたように、世はまさに高齢化社会、高齢化社会を飛び越えて、超高齢化社会になりつつあるんじゃないかと思ひます。私たちの花野団地にもその波はひしひしと押し寄せてまいっております。これは大きな命題ではないか。

そこで私たち花光会では、法的には老人クラブでありますけれども、3つの視点から活動に取り組んでおります。福祉団体、生涯学習団体、奉仕団体、この視点から活動に取り組んでおります。そのほんの一部をただいまから紹介させていただきます。



ただ1つ、はっきり明確に言えることは、老人クラブは暇人の年寄りの集まりではないということ。年寄りとか老人クラブといいますとマイナスのイメージ、負のイメージで、「なんだ、老人クラブか。」という風潮は、まだまだ鹿児島県内にも非常に強いと思ひます。

花光会活動の一部です。カラオケクラブ、みんながとても楽しみにしている福祉バス、もう県内のあちこちに行ってまいりました。全国的に、とりわけ鹿児島県では驚くほど盛んになっているグラウンド・ゴルフ、手づくりによるレクリエーション大会、いずれも非常に皆さん楽しく、しかも元気いっぱい活動しています。



先ほど申し上げましたカラオケクラブの様子です。私たち花光会には、員内クラブ、クラブ内クラブとして、本年度は7クラブがございます。毛筆クラブ、水墨画、唱歌、エコ、園芸、カラオケ、フォークダンス、その年によって一部変わりますが、7ないし10のクラブが盛んに活動しております。